

10号 龍城球鬼

平成17年度OB会事業報告
(平成17年8月1日～平成18年7月31日)

1 活動状況（主な行事）

平成17年8月14日

平成17年度OB総会

平成18年3月12日

野球部年報・OB会報

平成18年3月18日

卒業生OB会入会式

平成18年5月4日

新入部員父母会歓迎会

平成18年7月2日

夏の県大会背番号授与式

2 会員数及び会費納入状況

(平成18年7月31日現在)

●名簿搭載
620名

(うち所在不明・永眠者78名)

●実質会員
542名

●会費納入

本年度分	202名	739千円
過年度分	16名	67千円

16 名	202 名
6 7 千 円	7 3 9 千 円



平成18年度を振り返って

平成十八年は、本校野球部創部百十周年記念招待試合で浜松商業と対戦、4対3の勝利で春のシーズンをスタートした。

春季東部大会は二回戦で敗退したが、自慢の強力打線に磨きをかけ、夏の大会に臨んだ。3回戦まで地元あしたか球場で戦えたこともあり、活発な打線の援護で投手陣を支え、いずれも僅差のゲームではあったが、一回戦誠恵、二回戦沼津市立、三回戦富岳館と勝利を積み重ねた。4回戦は、シード校の掛川西と対戦。最後は、力の差で七回コールド負けを喫したが3年連続の3勝、ベスト十六以上を果した。

新チームの秋季大会は、二年振りに県大会出場。一回戦で国際海洋一に勝利、二回戦は静岡に延長で敗れた。この大会での打力が高く評価された小出内野手が、県選抜チームに選出されて冬の台湾遠征に参加。ホームランを放つなどの活躍を見せた。

平成十九年三月

蕪山高校野球部OB会事務局

収支決算書(平成17年8月1日～平成18年7月31日)

単位:円

収入の部	金額	摘要	支出の部	金額	摘要
前期繰越	1,127,342		部活動援助等	488,985	バット14本 ポール19D キャッチャー用具一式
年会費	806,000	218名	コーチ派遣費	0	
雑収入	45,000	百周年記念誌7冊	会報発行	145,005	東海印刷1,000部
		祝儀 長倉スポーツ	卒業生入会式	48,000	図書券 16名分
預金利息	6	静銀普通預金	慶弔費	0	
百十周年記念 事業残額戻入	402,068		会議費	61,660	役員会2回 父母会総会
			通信費	139,620	別納郵便2回 往復葉書1回
			事務費	67,902	コピー、事務補助
			雑 費	17,959	振込手数料1件 同窓会会報広告、祝電
			久保基金取崩記念事業へ	500,000	
			次期繰越	911,285	内、故久保氏寄附金 500,000円
合 計	2,380,416		合 計	2,380,416	

※送金料は各費目に含む

収支予算書(平成18年8月1日～平成19年7月31日)

単位:千円

収 入 の 部	18年度予算	17年度決算	支 出 の 部	18年度予算	17年度決算
前期繰越	911	1,127	部活動援助等 (コーチ派遣費含む)	570	489
年会費	930	806			
雑収入	50	45	会報発行	85	145
預金利息	0	0	卒業生入会式	45	48
記念事業残額戻入	—	402	慶弔費	—	0
			会議費	70	62
			通信費	145	139
			事務費	70	68
			雑 費	20	18
			創部百十周年記念事業へ繰出し	—	500
			予備費	886	911
			(次期繰越)		1,127
合 計	1,891	2,380	合 計	1,891	2,380



OB会情報

野球部創部百十周年記念事業報告

1897年（明治30）の創部から百十周年、1950年（昭和25）春の選抜大会優勝五十五周年及び1995年（平成7）夏の甲子園大会三回戦進出十周年を記念して、各種事業を行いました。

開催日 2006年（平成18）3月12日（日）
会場 静岡県立韮山高等学校
内容

- (1) 記念招待試合 12：30～15：00 本校グラウンド
浜松商業=1979年（昭和53）選抜大会優勝校=と対戦し、4対3で本校が勝利しました。
- (2) 記念碑除幕式 15：30～16：00 バックネット裏スタンド上段
阿久悠先生作詞「敗れざる君たちへ」を刻む記念碑を除幕しました。
- (3) 記念式典、パーティ 16：30～18：30 志龍講堂
日本高校野球連盟の脇村春夫会長をはじめ高野連関係者、本校関係者等320名が参加し、盛大に行われました。
- (4) 韮山高校野球部ホームページ
<http://www.nirayama-bbob.com/>
野球部の歴史、部活動内容を掲載したホームページを開設しました。

創部百十周年記念事業収支報告書

（単位：円）

収入の部		支出の部	
甲子園出場記念積立金より	2,000,000	記念碑	2,224,000
企業等協賛金 45件	690,000	神事・除幕式	96,300
祝儀収入 22件	320,000	招待試合	164,460
パーティ会費 253名	1,265,000	パーティ	838,633
記念品販売	143,000	来賓等諸経費	104,000
久保基金取崩（本会計より）	500,000	ホームページ作成	220,920
〇		ポスター	181,650
〇		記念式典プログラム	102,900
〇		スタッフ昼食代	48,000
〇		記念品購入	246,000
〇		記念写真代	6,000
〇		送迎バスチャーター	17,560
〇		会議費、事務費、通信費等	265,509
〇 合計	4,918,000	〇 合計	4,918,000



平成18年3月16日（月）静岡新聞

韮山高 昭和25年センバツV

感動の賛辞石碑に
県立韮山高野球部創部百十周年記念事業の一環で、阿久悠氏が昭和十五年に初出場で全国制覇した同高校野球部への思いを描いた詩「敗れざる君たちへ」を刻む石碑が完成し、十二日、同校で除幕式が行われた。詩のモデルとなったのは、昭和二十五年の春の選抜甲子園大会、当時無名だった韮山高野球部は、優勝候補との度重なる激戦を逆転で制し、優勝まで上り詰めた。当時中学生だった阿久氏は、その高校野球ファンの記憶の中に伝説的に棲みついた名門校、たった

阿久悠氏の詩刻み除幕

一度の春の奇跡を、人々は忘れることが出来ないからと活躍をたたえている。鈴木さんは「四十五年後に詩を見て、当時の記憶が鮮やかによみがえった。自分たちのことを書いてもらったことにうれし」と話す。詩はOBたちの間で話題になり、石碑に残すことになったグラウンドが見渡せるバックネット裏のスタンドに設置され、左上には空を舞う鮮やかな青い鳳凰のオブジェを付け、デザインをした二十四回卒の青甲守弘さんが説明をし、OB会や現役部員ら全員で除幕した。阿久悠さんの詩を刻んだ石碑を除幕する関係者＝県立韮山高



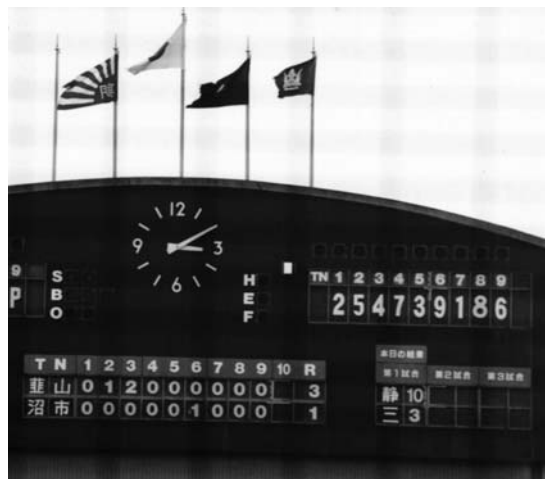
平成18年の総括と来春に向けて

部長 早川 敏

平成18年度も小川、近藤の両投手による活躍でベスト16まで3年連続で進むことができました。当然と思われる向きもあるかと思いますが、何とか最低限の目標を達成できて何よりでした。多少の投手陣の失点があっても猛打で逆転して勝ち抜いてきました。昨年の龍城球児でお伝えしたように「走塁野球から打棒爆発の攻撃野球」をテーマに取り組んだ成果が大会でも随所に見られたと思

います。ご声援ありがとうございました。また、新チームになり、投手の軸となりと期待された中島が秋季東部大会は、けがで出場できませんでした。たが、神谷、長谷川の両投手がよく頑張った。県大会では復帰した中島が健闘、2回戦進出を果たせました。その結果として、3番打者の小出が静岡県選抜、台湾遠征の一員に選ばれ、全試合に出場し、ホームランを打つといった大活躍で本人も自信をより深めることができました。今は冬のトレーニングの最中です。今年も投手陣の走り込みはもとより個々の選手が「2万発の生きた球を打ち

部長	早川 敏	〇
副部長	寺田 典生	〇
副部長	秋津 温	〇
監督	小雀浩一郎	〇
守備位置	氏 名	出身中学
投手	〇 近藤 祐輔	伊豆長岡
捕手	岩代 雄大	天 城
三塁手	平田 皓資	伊豆長岡
中堅手	飯田 恭朗	韮 山
右翼手	石田 佳祐	三島南
右翼手	上田 貴大	大 仁
投手	小川 隆太	中 郷
中堅手	小野崎 順基	三島南
中堅手	木村 優一	熱 海
一塁手	関 宏宣	三島南
遊撃手	永瀬 太紀	錦 田
左翼手	野澤 良介	三島南
マネージャー	北村 志穂	金 岡
マネージャー	小池 ひとみ	静 浦
マネージャー	渡辺 まみほ	錦 田



抜く」といったかつて自分たちが体験したことのない激しく、集中したトレーニングといった小雀野球の毎日が続いております。今年は今のところ特にテーマは掲げておりませんが、野球部としてのチームの幅は確実に広がっております。春の大会ではどんなチームに変身するのか、楽しみにして下さい。甲子園を目標に選手は自分たちの青春の多くの部分を野球にかけています。そして、それは我々の夢でもあります。小雀野球を多くの皆様とともに支えていきたいものです。

BASEBALL

高校59回卒業生

特集

菲山、逆転サヨナラ

翔洋は宮北に快勝

翼からの返球がベンチの中に転がり、サヨナラが決まった。

静岡新聞 平成18年9月24日

▽向敵（全五種第5試合）
国際開洋（西野5対）
04001200002x
100002x
76

▽二塁打（山田、鈴木厚国）
山田、鈴木厚国
0522

▽小出、杉森、鈴木、木戸○捕逸 今野（重）▽ボーク 桑野（国）

▽試合時間 2時間20分
【評】 国開が九回に2点を奪って、国際開洋一に逆転サヨナラ勝ちした。

　　葦山は、八回二死二塁から久保田と杉森の連続適時打で1点差に追いつけた。九回に九回二死二塁から鈴木が、悪送球で自らサ

　　本の一塁線を破る二塁打で同点に追いつくと、相手の悪送球の間に、打った鈴木が、一気に逆転のホームを踏んだ。五回から登板した中島が、相手打線に無得点に抑えて反撃を断った。

　　国際開洋一は先手を取って有利に試合を進めたが、後半に追加点を奪えずリードを守り切れなかった。

葦山、執念の勝利

　　○：同点の適時打を放った鈴木が、悪送球で自らサヨナラのホームを踏むと、葦山インは劇的な逆転劇に喜びを爆発させた。小雀監督は「なかなか流れを引き寄せられなかったが、よく最後まで辛抱してくれた」と選手をたたえた。

　　一点を追う九回二死二塁の後なかなか場面、打席に立った鈴木は、チームの合言葉もある「執念」で2球目の変化球を打たいて一塁線を破ると、同点の走者中島を迎え入れた。さらに右からマウンドに上がり、国際開洋インの反撃を○安打無失点に抑え込んだ。「みんなが返してくれたと信じ、丁寧に投げました」と中島。最後はまた完治して、右足を引きましたが、同点のホームを駆け抜け、地区大会でも接戦をものにして勝ち抜いた葦山らのイチチーム一丸となった。

　　「執念の逆転サヨナラ劇だった。」

静岡、延長で葦山破る

▽2回戦・草薙第1試合
静岡 岡中(部1位)
030101001006
2010101000
山(東部5位)
511

▽本塁打 小出(延長10回)
▽二塁打 斎藤、越智、板倉
(静)久保田、杉森2(亜)
▽暴投 大村、稲葉(静)中
5-1で迎えた延長十
回、2点を失うなど制球が
定まらない。五回、小出に
左越え本塁打を浴びて降板
するまで相手のクリーンア
ップに7安打を許した。

▽試合時間 2時間44分
【評】静岡は苦しみなが
らも延長で亜山を下した。



回、静置は一死から4四球に板倉、越智らの過時打など4安打を絡めて一気に6点を奪い、葦山を突き放した。

葦山も健闘したしかし、同点とされた直後の八回裏一死二塁の勝ち越し機を逃すなど、あと一押しができず、九回まで粘りの投球を続けた中島を援護することができなかった。

だが、大村を救援したもう一人のエース、右腕稲葉がチームの悪い流れを変えた。4・4で迎えた五回一死からマウンドに上がるのと、七回のピンチに1点は失ったが、七回のアウトすべてを三振で奪う気迫の投球で、延長十回まで一死点をのぎきった。「調子はよくなったが、抑えていければ味方が援護してくれる

静岡・韭山 延長10回表静岡1死満塁、越智の左前適時打で三走平川（中央）に続いて二走板倉（後方）も生還する。草薙球場



稲葉の好救援 静岡

○：中部地区1位の静岡が、苦しみながらも延長戦で粘る韭山を下し、初戦を突破した。「先発の大村がピリッとせず、すっきりした勝ち方ではなかった」と畑田監督も振り返った。

左腕エースの大村は初回、前日のサヨナラ勝ちで勢いに乗る韭山打線に3連

通し、稲葉のナックル延長回の大量点を呼び込んだ。打線は中島の緩いカーブ攻略に苦勞した。主将越智は「今日はみんなが自分で決めようとして気持ちが空回りした。次はつなぐ野球を心掛けなく」と準々決勝を見据えた。

通り、稲葉の力が、延長十回の大満点呼び込んだ。打線は中島の緩いカーブに体が前に突っ込むなど、攻略に苦勞した。主将越智は「今日はみんなが自分で決めようとして気持ちが空回りした。次はつなぐ野球を心掛けないと」と準々決勝を見据えた。

平成18年度を振り返って

監督 小雀浩一郎

OB会の皆様におかれましては日頃より野球部活動に御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

「昨年のチームにはかなわない」という思いからスタートした今年のチームは、自分たちのチームカラーを作るところから試練の連続でした。17年秋季大会では、5位決定戦でコ

「ルト負け」という屈辱的な結果に終わり、春に向けてチームカラーを一新せざるを得ない状況になりました。そんな中で、打撃重視の攻撃野球への転換を目指した冬には「2万打球打つ」という数値目標を掲げ、選手が必死に取り組みました。その成果は春の大会の1回戦で13点取り5回コールドでの勝利につながったと思います。しかし、2回戦で秋に負けた富士宮西に1対3で敗れ夏に向けての課題も浮き彫りになりました。また、春には創部110周年の記念式典も盛大に行われ、勝たなければならないという思いをより強くもつことができました。

抽選会を終えて、あしたか球場での3試合は絶対に負けられないという強いプレッシャーがチームを必要以上に緊張させましたが、1回戦は苦しみながらも逆転勝利し、2回戦では冬からのテーマであったホームランで勝ち、3回戦は霧による中断



静岡新聞 平成18年9月24日

秋季高校野球県大会

春のセパッへの挑戦権をかけた秋季高校野球大会は23日、開幕し、草薙球場など4球場で1回戦9試合を行った。推薦枠で出場した夏の甲子園出場の静岡商は沼津市立東部3校に1-2の試合で敗れた。接戦の試合が多く、亜山(東部5位)は国際開洋一(西部5位)に7-6で逆転サヨナラ勝ち。磐田東(西部5位)は39年ぶりに出場した沼津商(東部4位)に4-3でギリ勝った。東海大翔洋(中部4位)興誠(西部5位)静岡工(中部5位)は危なげなく勝ち上がった。大会第2日の24日は草薙球場などで2回戦8試合を行い、各地区の1、2位校がそろって登場す

台湾遠征を終えて

小出 光太郎

僕は昨年の冬休みに静岡県選抜チームの一員として台湾遠征に行かせて頂きました。新チームになってからの秋季大会で県大会に出場し、その参加校二十五校で各校二人の選手を推進し、合計五十人の中から最終的に十八人が選出された中に、運にも恵まれ自分が選出されました。七泊八日で台湾の高校と四試合行い、また観光や食事を通して台湾の文化を学ぶ事ができ、とても貴重な経験をする事ができました。

試合は三勝一敗で、僕は途中出場も含め、

三年間を振り返って

主將 近藤祐輔

昨年は、創部百十周年記念事業、
 二月にはさまざまな方たちの御尽力
 により、照明設備が設置されました。

このようないい環境の中で、部活動となりましたが、新チームの当初の成績は奪わず、また一年生の頃からよく怒られ自信がなかったためか、自分たちを卑下するときもありました。小雀先生も非常に手を焼かれました。秋も終わりにさしかかったころ、自分がやらされている野球をしていることに気づきました。つまらない野球をやるのではなく、自分たちから楽しんでやろう。ここで気づいていなかったら、夏の大会で最後まであきらめない姿勢、仲間のありがたさという人生において大きな糧となるものを得られなかったと思います。これは僕の勝手な意見ですが、一番成長したのは野球の技術でなく、スコアの書き方でもなく、人間性だと思っています。

最後になりましたが、御指導くださった先生方、支えてくれた父母会・OB会の皆様には大変感謝しています。ありがとうございました。

[illegible]

山 萑

今年も頑張ろう！
萑高野球部！

秋春ともに県大会出場はな
らなかつたが、一昨年のベスト
16昨年のベスト8のチームになつ
てきた。この夏の主将である左
腕近藤と冬からの成長著しい
アンダースローエース小川の
2本柱でのぞみた。2人の投
手の失点を上回る点を打線が
いかにして獲るかがすべてで
ある。打線は岩代、平田、石田、

木村の3年生らには長打力も
あり楽しみだが、波もあり一抹
の心配もある。
この3月には、創部110周
年式典を開催し、OB会、父母
会とともに現チームへの期待は
を胸に秘め、精一杯プレー
をしてください。
スタンドでは萑高野球が大
好きなファンが、君たちのプ
レーに負けないうらい、大き
な声で応援します。

ネット裏より一言
今年も「熱い夏」がやつて
きました。1年生には初めて
の夏。3年生にとっては「最
後の夏」です。それぞれの想
いを胸に秘め、精一杯プレー
をしてください。
スタンドでは萑高野球が大
好きなファンが、君たちのプ
レーに負けないうらい、大き
な声で応援します。

今年には萑高野球部創部百十
周年の年。
「男子の気噴き吹き明かれ」
この歴史ある校歌をグラ
ンドに響かせ、君たち一人一
人が輝くことを期待しています。
みんなの目標は唯一つ「甲
子園出場」
選手諸君！凛として戦え!!
(父母会会長 近藤辰哉)



風景与授予番号背

平成18年7月2日



静岡新聞 平成18年7月17日

1回戦

▽あしたか (第1試合)
萑 山100 130 000 000 | 5
誠 恵103 000 000 000 | 4
▽三塁打 久保田 (萑) ▽二塁
打 久保田、近藤 (萑) 佐野純、
若林、大勝、関 (誠) ▽捕逸
岩代 (萑)
▽試合時間 2時間13分
【評】萑山は3安打2打点の
主軸久保田を中心とした打線が
11安打で好機を着実にものにし
て誠恵に競り勝った。
萑山は2点を追う5回、2敵
失に乗じて勝ち越した。主戦小
川が制球に苦しみながらも丁寧
な投球で、4回以降を散発2安
打に抑えた。
誠恵は7回2死から継投した
深沢が無安打で踏ん張ったが、
打線が援護できなかった。

【萑】	山	打安点
②	岩代	52000
③	小久保	44322
④	久保田	31101
⑤	近藤	41101
⑥	石川	31101
⑦	小川	41101
⑧	小野	10000
⑨	永瀬	40000
計		37114
【誠】	恵	打安点
⑤	若林	41101
④	佐野	23110
③	大早	31101
②	深沢	42000
⑦	鈴木	22000
⑧	古野	42000
⑨	卓井	42000
①	深沢	42000
計		3373
【萑】		7022260
【誠】		振球犠盗失残併 5211250



新チーム紹介

主将 植田 駿一郎

今年の萑高野球も今年らしさがあり、
全国制覇を目指して日々努力を重ねて
います。昨年の秋季大会では県大会に
出場したもの、二回戦で静岡高校に
敗れ、続く三島・田方大会、三村杯で
も結果を残すことができませんでした。
しかし今はこの三つの大会で学んだこ
とを生かしています。

まず、練習中に隙を見せないとい
うことです。試合でも相手に隙を突かれ
て負けたことが多くあったので、この
反省をしました。また野球をやってい
るときだけでなく、学校生活でも隙を
作らないようにしています。全てが野
球ではないが全てが野球と結びつくとい
う考えを全員が持ち、練習では一球
に対する集中力を高め、厳しい雰囲気
を作って練習をしています。

次に全員が「チームのために」を考
えて行動することです。そのためには
一人一人がしっかりと自分の役割を見
つけることが大切です。そうすること
で責任感が生まれ、それに伴った行動
結果がついてきます。

またこの二つ以外にも技術練習やト
レーニングにも励み、秋の悔しさを忘
れずに、常に全国制覇をイメージして
練習しています。この冬で大きく成長し、
春の大会ではシールド権獲得、夏甲子園
優勝を目標して萑高野球を作り上げて
いきます。

最後になりましたが、毎年多くの方々
の御支援、御協力に心から感謝申し上
げます。

現役チーム
戦績表

平成18年7月～11月		
試合日	萑高一对戦校	萑高一对戦校
7/30	0－6(沼津市立)	4－6(沼津市立)
7/31	12－9(静岡学園)	9－9(静岡学園)
8/4	1－12(木更津総合)	9－6(木更津総合)
8/6	14－6(田方農業)	12－7(田方農業)
8/7	9－3(日野台)	15－15(日野台)
8/13	7－0(吉原商業)	秋季東部大会一回戦
8/19	8－1(富士宮北)	秋季東部大会二回戦
8/26	2－7(御殿場西)	秋季東部大会三回戦
9/2	15－12(富士宮西)	秋季東部大会5位決定戦
9/10	7－6(伊東商業)	10－5(藤枝東)
9/16	9－1(熱海)	6－9(熱海)
9/17	6－3(静岡東)	9－4(御殿場西)
9/23	7－6(国際海洋第一)	秋季県大会一回戦
9/24	5－11(静岡岡)	秋季県大会二回戦
10/7	9－1(静岡工業)	4－5(島田工業)
10/8	5－3(富士)	2－14(富士)
10/9	7－10(伊東)	5－12(伊東)
10/14	6－4(池新田)	11－11(池新田)
10/15	1－1(磐田南)	6－1(常葉橘)
10/22	2－1(平塚工科)	11－1(吉原)
10/28	2－4(三島)	4－7(三島南)
11/3	9－1(伊豆中央)	5－4(伊豆中央)
11/5	11－0(川根)	4－6(川根)
11/12	2－6(大仁)	14－2(静岡南)
11/19	1－0(沼津城北)	6－5(沼津城北)

平成18年度 野球部試合予定表

月	日	対戦校	時間	対戦校	時間	会場	備考
3	10(土)	静岡東		静岡工業		静岡学園	
	11(日)	静岡学園		静岡工業		静岡学園	合宿
	17(土)	田方農業		田方農業		本高校	合宿
	18(日)	磐田南		磐田南		本高校	
	24(土)	富士学苑		富士学苑		萑山球場	
	27(火)	鎌ヶ谷		鎌ヶ谷		愛鷹球場	春季大会
	31(土)	沼津工業		沼津工業		愛鷹球場	春季大会
4	1(日)						
	2(月)	府中工業		府中工業		萑山球場	春季大会
	7(土)						春季大会
	8(日)						春季大会
	15(日)	池新田		池新田		池新田	
	21(土)	伊東商業		伊東商業		伊東商業	
	28(土)	富岳館		富岳館		富岳館	
	29(日)	焼津中央		焼津中央		萑山球場	
5	3(木)	掛川西		掛川西		掛川西	
	4(金)	国際海洋第一		国際海洋第一		国際海洋第一	
	5(土)	三島南		三島南		三島南	
	6(日)	伊東東		伊東東		伊東東	定期戦
	12(土)	沼津東		沼津東		沼津東	
	13(日)	藤枝西		藤枝西		藤枝西	
	20(日)	沼津商業		沼津商業		沼津商業	招待試合
	26(土)	山梨学院		山梨学院		山梨学院	
6	2(土)	慶應義塾		慶應義塾		慶應義塾	
	3(日)	静岡南		静岡南		静岡南	
	9(土)					萑山球場	伊豆の国市大会
	10(日)	富士宮東		富士宮東		富士宮東	
	16(土)	沼津工業		沼津工業		沼津工業	
	17(日)	沼津市立		沼津市立		沼津市立	
	23(土)	島田工業		島田工業		島田工業	
	24(日)	横須賀		横須賀		横須賀	
	30(土)	横浜戸塚		横浜戸塚		横浜戸塚	抽選会
7	1(土)	沼津城北		沼津城北		沼津城北	
	7(土)	御殿場南		御殿場南		御殿場南	
	8(日)	静岡学園		静岡学園		静岡学園	
	14(土)	第89回全国高校野球選手権静岡大会開会式		草薙球場		草薙球場	

■ 韮山が逃げ切る



▽あしたか (第2試合)
韮山 0 1 2 0 0 0 0 0 0 3
沼津市立 0 0 0 0 0 1 0 0 0 1

▽本塁打 石田 (韮)
▽二塁打 小出 (韮)
▽試合時間 2時間7分

【評】 韮山が序盤の好機をも
のにして沼津市立に競り勝っ
た。

韮山は2回、石田の本塁打で
先制。3回にも先頭打者の永瀬
が左前打で出塁し、敵失などで
2死満塁とすると、2四死球で
2点を加えた。守っては主戦小
川が制球を低めに集めて、6回
以外は連打を許さなかった。

沼津市立は主戦井口の投球に
本来の切れが戻らず打線もつな
がらなかった。

【韮山】打安点
② 岩代 5 0 0
⑤ 平田 5 1 0
④ 小出 4 1 0
⑦ 久保 4 0 0
③ 近藤 4 0 1
⑨ 石川 2 1 2
① 小川 3 1 0
⑧ 木村 2 0 0
H 関 1 1 0
R 飯田 0 0 0
8 小野 1 1 0
⑥ 永瀬 4 2 0
計 35 8 3

【沼津市立】打安点
⑧ 土井 3 0 0
⑥ 平石 4 1 0
③ 諸沢 4 1 0
⑤ 高橋 4 0 0
⑦ 高望 2 2 1
① 井口 3 0 0
④ 沢村 2 0 0
H 間子 1 0 0
② 金沢 3 0 0
⑨ 水口 2 1 0
H 真野 1 0 0
計 30 5 1

【韮山】
5 5 1 2 1 1 1 0
振球犠盗失残併
4 3 3 3 1 8 0
【沼津市立】
5 5 1 2 1 1 1 0
振球犠盗失残併
4 3 3 3 1 8 0



▽あしたか (第2試合)
富岳館 0 0 0 0 0 0 0 5 3 8
韮山 0 0 3 1 1 1 0 1 2 9

▽二塁打 一尾 (富) 平田、久
保田、上田、近藤、杉森、石田、
永瀬 (韮) ▽暴投 植松孝 (富)
▽捕逸 佐野基 (富) ▽野選
井上寛 (富)

▽試合時間 2時間32分

【評】 韮山が富岳館の終盤の
猛追を退けてサヨナラ勝ちし
た。

韮山は6回までに6点をリー
ドしたが、8、9回に富岳館の
反撃に遭い、勝ち越しを許した。
しかし1点を追う9回、永瀬の
二塁打を足掛かりに野選と平田
の右前打で同点。続く代打の近
藤が殊勲打を放った。

富岳館は8、9回に10安打の
猛攻で勝ち越したが、守り切れ
なかった。



【富岳館】打安点
⑧ 井上輝 5 2 2
⑨ 木村秀 5 3 1
⑥ 植松孝 4 0 2
③ 小長谷 5 3 2
④ 一尾 4 1 0
⑦ 佐野基 4 2 0
⑤ 井上寛 3 2 0
① 植松孝 3 1 0
② 佐野基 3 1 0
計 38 15 7

【韮山】打安点
② 岩代 6 2 1
⑤ 平田 6 2 1
④ 小出 2 1 0
H 上田 1 1 0
H 植近 0 0 0
H 久保 4 1 1
⑦ 杉森 4 2 2
③ 石川 4 1 1
⑨ 小川 2 0 0
⑧ 木村 4 1 0
⑥ 永瀬 5 2 0
計 39 14 8

主将、近藤が
代打で殊勲
○ 韮山サヨナラ

○ 韮山が主将、近藤の
代打殊勲打で勝負を決め

た。小雀監督も「3年生が
意地を見せてくれた」と感
無量の表情。

出番を待ちわびていた近
藤は、九回表が終わった時
点で監督にアピルの視線
を送った。打席では「何が
何でもボールに食らい付い
ていこうと思った」と期待
に応えた。

仲間やスタンドから祝福
を受けた近藤だが「うれし
いけれど、これはこれ。掛
西戦に向けて切り替えてい
きたい」と冷静に次戦を見
据えた。

【掛川西】打安点振球
⑧ 川渡 4 1 1
⑥ 横八 1 1 0
④ 森保 1 2 1
③ 矢野 2 2 0
⑨ 矢野 2 2 0
⑦ 矢野 2 2 0
① 矢野 2 2 0
⑧ 矢野 2 2 0
⑨ 矢野 2 2 0
② 矢野 2 2 0
計 28 13 7

【韮山】打安点振球
② 岩代 2 2 2
⑤ 平田 2 2 2
④ 小出 2 2 2
H 久保 2 2 2
H 関 2 2 2
R 飯田 2 2 2
8 小野 2 2 2
⑥ 永瀬 2 2 2
計 33 13 7

【掛川西】
3 3 0 3 0
振球犠盗失残併
0 0 2 3 0

【投手】回 打安振球責
加茂 7 24 2 9 2 0
藤 5 19 5 0 0 2
近川 1 1 1 6 2 1 4
小藤 1 3 2 0 1 1

掛川西―韮山 1回裏韮山2死一、三塁で二、三塁間に挟まれた一走久保田は
二塁手の八木にタッチされる。浜松球場



エース加茂、韮山を零封

○ 掛川西打線が13安打で9得
点と爆発。投げては先発の加茂が
被安打2、9奪三振の力投で韮山
打線を寄せつけなかった。加茂は
試合後、「相手の粘り強さは知っ
ていたが、自分が冷静にプレーす
れば大丈夫だと思った。今日は開
き直って投げた」と話した。

加茂は試合前、ビデオで韮山打
線のスイングを研究し、「内角に
弱点がある振り」と判断。この日
は相手打者の内角を突く投球を心
掛けた。1回に2安打を許したが、
2回以降は無安打に抑えた。

一方、打線も7回に打者一巡の
猛攻で7得点を挙げるなど好調。
4回に代打で2点目の中越え適時
打を放った土屋は「ボールに集中
してセンター返しを心掛けた。打
球が抜けてうれしかった」と振り
返る。土屋は大会初出場。七回
にも猛攻の口火を切る右前打を放
つなど打数2安打1打点の活躍
をみせた。上村監督は「いい感じ
だったね。期待に応えてくれてよ
かった」とたたえた。

次は初のベスト8を決めた静岡
東との対戦。上村監督は「毎試合
がドキドキだ。明日も頑張らな
い」と大勝にも気を引き締めて
いた。



▽浜松 (第2試合)
掛川西 0 0 1 1 0 0 7 9
韮山 0 0 0 0 0 0 0 0

(7回コールド)
▽三塁打 八木 (掛) ▽二塁打 土
屋、森下 (掛) 平田 (韮)
▽試合時間 1時間47分

【評】 掛川西が13安打で9点を
奪い、韮山を圧倒した。

掛川西は3回、先頭の谷野が左
前打で出塁。加茂の犠打で1死二
塁とし、渡辺の左前適時打で先制
した。1点を加えて迎えた7回に
は、土屋の右前打などで1死二、
三塁とすると、帯金の右前打で加
点。敵失も絡んで二走の谷野も生
還した。さらにこの回、4連打を
含む打者一巡の猛攻で計7点を挙
げた。

韮山は掛川西・加茂の前に散発
2安打に抑えられ、2回以降は三
塁を踏むことができなかった。

